

言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った
技術・家庭科の授業実践例

廿日市市立阿品台中学校

- 1 学年・題材名 第1学年 私たちの食品の選択と調理
- 2 本時の目標 食生活に関心を持ち、よりよい食生活を送るための食品の選択ができる。
- 3 本時の工夫点 自分の考えを理由や根拠を明らかにして発表させる場面や、自分の意見をしっかりとめさせ他者の意見を聞かせる場面を設定する。
- 4 学習の展開 (指導を要する生徒への支援)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 今日の夕食はスパゲッティーミートソースにしようと思うが、どこでどのように調理したものを食べようと思うか考え、発表する。</p> <p>2 目標の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">よりよい食生活を送るための食品の選択をしよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ食事でも、外食、できたものを買ってくる、加工食品を利用する、手作りなどいろいろな食べ方があることを知らせる。 ・「手作りのもの、缶詰のもの、できあがったもの」の3つを準備する。 ・自分だったらどの食品を選ぶか考えワークシートに理由も考えながら記入させる。 	
<p>3 「手作りのもの、缶詰のもの、できあがったもの」それぞれの食品の長所・短所を考え、発表する。</p> <p>4 外食や加工食品を利用することの問題点を考える。</p> <p>5 目的に応じた食品の選び方をまとめる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>情報を正しく伝える技術 自分の考えを理由や根拠を明らかにして話す。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに1つずつ分担し、それぞれの食品の長所・短所を話し合わせる。 ・食べるために食品を準備することだけでなく、食べた後のごみの問題にも気づかせる。 ・小学校での既習の学習等を思い出させ、外食や加工食品の問題点も考えさせ、発表させる。 班の中では、全員が自分の意見が出せるように声をかける。 ・班ごとに発表させる。 発表の少ない生徒に発表するよう声をかける。 ・自分の考えと比較させながら発表を聞かせる。 ・安易に手軽な食品を選びがちなので、問題点をしっかりとりあげ考えさせる。 ・生徒の意見の中から、環境問題や食の安全性の問題、食糧自給率の問題にもふれる。 ・どのような場面でどの食品を選ぶか自分の考えをまとめさせる。 ・生活場面に応じた食品の選び方の大切さを理解させる。 ・次時には、環境問題や食の安全性などの食の問題点について学習することを知らせる。 	<p>・食生活に関心を持ち、よりよい食生活を送るための食品の選択ができる。 (発言・ワークシート)</p>